

「すばらしい生き方」と「自分の可能性」との出会いを!

平成29年度 第7号

<平成29年11月5日>  
安芸太田町立安芸太田中学校  
文責 教頭 金田 順史  
TEL (0826) 32-2244  
FAX (0826) 32-2987  
E-mail akiotachu@gakko.akiota.jp



# 安芸太田中学校通信

~ 未来を創る人づくり ~

## 平成29年度前期 学校教育目標『**学びを生き方につなぐ教育の創造**』の実現度

4月に安芸太田中学校として開校し、半年余りが経ちました。この間、**学校教育目標『学びを生き方につなぐ教育の創造』**の実現をめざして、学びを地域に開き、地域の皆様のご協力を得ながら、教育活動に取り組んでまいりました。今号では、学校教育目標の実現度について分析をしてみたいと思います。

### ○教育目標を実現する本校教育の二つの柱 『すばらしい生き方との出会い』と『自分の可能性との出会い』

安芸太田町魅力発見!

#### 『すばらしい生き方との出会い』(社会に貢献する力の育成)

社会に貢献する力(意欲・態度・実践力)の育成を図るため、総合的な学習の時間を中心に、地域の方とのふれあいや地域を学習の場とした体験活動・探究活動を行ってきました。

地域の各種団体や住民の方のご協力により、学習活動の種類や内容も充実し、次の調査結果からも一定の成果が上がっていることがわかります。

○学校評価アンケート(平成29年度前期)

評価項目 『地域行事への参加等の体験活動は、生徒の挑戦心や社会貢献の意欲を育むことにつながっている。』

◎保護者の肯定的評価 84% ◎生徒の肯定的評価 70.2%

生徒の自信につながる課題解決的な体験学習の実施やその結果による地域貢献意欲の高揚は、生徒の生きることへの意欲や挑戦心・向上心など、自らの人生に立ち向かう力を育てることにつながると考えます。



2年総合的な学習の時間  
地域特産『祇園坊』収穫体験 10/26

#### 『自分の可能性との出会い』(学力の向上)

学力の向上に向け、この夏の校内研修でも、次の学力調査の結果を分析し、深い学びを引き出す指導、家庭学習の充実を図る指導、そして生徒自身が成長を実感する評価工夫に取り組んできました。

学びを生む最も重要な要素である基礎学力の定着度は?!

<年度当初実態> 平成29年度 広島県「基礎・基本」定着状況調査(6月実施)の結果より

2学年対象		国語	数学	理科	英語
平均値	安芸太田中	63.9	49	45.7	64.2
	広島県	69.2	66.9	50.8	72.4

年度当初の  
学力実態

「基礎・基本」定着状況調査

毎年、全県の小学5年生、中学2年生を対象に実施される学力調査、その内容は次の3つです。

(問題タイプⅠ) 基礎的。基本的な知識・技能の定着状況を把握する問題  
(問題タイプⅡ) 思考力、表現力などの学力の状況を把握する問題

(アンケート) 児童生徒の生活や学習に関する意識や実態把握アンケート

●結果に基づき、教科指導等の実態や課題を明らかにし、指導の内容や方法の改善・充実を図ります。

#### <各教科の重点課題>

【国語】…書くこと・読むこと

- 考えの根拠を明確にして書くこと、主・述の関係や図(帯グラフ)の読み取りの習熟・定着。
- 条件に応じて資料を読むこと、読み取ったことを的確に書くことの習熟・定着。

【数学】…数と式・資料の活用・関数・図形

- 「分数の除法→割る数を逆数にして乗法に直す」ことの定着。
- 関数の比例定数、座標の表し方、式とグラフ(上の点)の関連など、基礎的な知識の理解・定着。

【理科】…化学分野・地学分野

- 力の表し方「矢印の向き、長さ、作用点」。特に、作用点を正しく表すことの習熟・定着。
- 化学の実験結果の意味を言葉や図(グラフ、表)で表すことの習熟・定着。

【英語】…聞くこと・話すこと(実技)

- 基本的な語彙と英語の発音の習得・定着。
- 基本的な応答のしかたの理解・習得、質問に対する正しく答えることの習熟。

#### <生徒の生活や学習に関する意識や実態(アンケート結果が県平均を特に下回った項目)>

- 課題を解決するために、進んで資料を集めたり、取材したりすること。必要な情報を集める有効な方法を考えること。
- 授業の中での学んだことの振り返り
- 英語で文章を書くとき、内容が読み手に正しく伝わるように、一文一文を正しく書くことと文と文のつながりに注意すること。

<年度当初実態>平成29年度 全国学力学習状況調査(4月実施)の結果より

3学年対象		国語		数学	
		A問題	B問題	A問題	B問題
平均値	安芸太田中	77.5	73.5	61.9	46
	広島県	78	73	64	48
	全国	77.4	72.2	64.6	48.1

年度当初の  
学力実態

**全国学力学習状況調査**  
毎年、小学6年生、中学3年生を対象に実施される学力調査です。  
(A問題)主として「知識」に関する問題  
(B問題)主として「活用」に関する問題  
思考力、表現力などの学力の状況を把握する問題  
(アンケート)生活習慣や学校環境に関するアンケート  
●結果に基づき、・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

<開校半年後の実態>平成29年度 第一回 実力テスト(9月実施)の結果

全学年対象		国語	社会	数学	理科	英語
平均値	1年	59.4	56.7	72	66.5	71.4
	2年	43.7	38.5	32.1	44.4	37.5
	3年	61.8	62.7	48.5	57	44.6

上半期(9月現在)の  
結果!

※現時点では、全県の平均値は出ておりませんので、暫定的に全教科とも平均を50点として考えます。

## 開校1年目 上半期の 最重要課題は **基礎的知識・技能の習得・習熟・定着!**

平成29年度6月実施の「基礎・基本」定着状況調査のタイプI(基礎的。基本的な知識・技能の定着状況を把握する問題)のテストを再度、10月に行ったところ、概ね改善は見られましたが、数学・英語については引き続き改善の取組を進める必要があります。特に、数学は、式と計算等の小学校時代より課題視されている最重要課題の定着を図るため、必要に応じ小学校の基礎的な内容にも立ち返った個別の課題に対応した指導を行います。

### 最重要課題の解決に向けた指導工夫・改善

## 生徒が『確かに力がついた!』と実感してわかる授業

### ①2年習熟度別指導の実施 ②全授業での形成的評価の実施

前期、数学・英語は同一教室内で2名の教員によるティームティーチング指導を行い、多様な指導形態や生徒個別への指導の充実に取り組んできました。

後期の学力の課題解消の取組の第一弾として、11月より、まずは2年生の数学・英語の授業で『習熟度別指導』を開始します。『習熟度別指導』での生徒の個別課題への対応をより充実させる授業で、学力の定着・実力アップを図ってまいります。また、授業ごとに、どれだけ学力が身についたか生徒も教師も確認できる形成的評価を実施して、さらに学力の定着をめざします。

『習熟度別指導』…生徒の個別の学力実態、生徒自身の意識や課題としている点などをもとにコース編成を行い、別教室でそれぞれ教師が付き授業を進めていきます。

◎コース…『基礎力充実コース』『実力アップコース』の2コース編成です。

ふるさとふれあい地域公開では、2年生の『習熟度別指導』を公開する予定です。

## 安芸太田町中学校地域公開 <ふるさとふれあい地域公開> (ご案内)

と き 平成29年11月11日(土)/ところ 安芸太田中学校 ※つつがふるさとまつり協賛

- |                             |                    |                              |
|-----------------------------|--------------------|------------------------------|
| 1) 全学級授業公開                  | 11:10 ~ 12:00      | ※生徒作品展示…体育館                  |
| 2) 生徒発表                     | 14:00 ~ 16:00 (予定) |                              |
| ○総合的な学習の時間 学習発表             |                    | <課題発見・解決活動からの学び>             |
| 1学年 地域での福祉体験・奉仕体験から学んだこと    |                    | ~地域貢献の意義・意味を考える~             |
| 2学年 職場体験学習から学んだこと           |                    | ~地域で働くことへの理解・地域の特産のPR活動への発展~ |
| 3学年 地域の魅力発信                 |                    | ~安芸太田町の未来を創る~                |
| ○全校合唱…『校歌』※校歌の地域への披露 『ふるさと』 |                    | ○表現活動…和太鼓・田楽                 |

※11月12日(日)…『つつがふるさとまつり』でボランティアスタッフ活動・ダンス発表を行います。

◎1学年…地域での福祉体験・奉仕体験一環として、ボランティアスタッフ(司会やイベント補助)の活動をします。  
◎ダンスチーム…地域貢献活動として、ダンスを披露します。

生徒の活動の様子をぜひご覧にまつり会場へお越しください。会場は、筒賀社会福祉協議会前の広場です。

【職員版】 校長だより No.11・12 (文責 校長 近藤 毅) より  
【あきらめない！挑戦をつづけて教育力向上！安芸太田中の未来につながる一步を共につくろう！】

ひゃくしゃくかんとう

「百尺竿頭に一步を進む」！ 現状に甘んじない心で挑戦！

●新人戦の前日のことです。生徒たちの多くが翌日の試合に備えて最後の調整を終え、下校の準備をしていました。まわりはもう薄暗くなっていました。

本校の体育館が卓球の新人戦の会場でしたから、部活動を終えて先生たちがその会場づくりに向かっていました。すると、体育館入口横のトイレに人影が見えます。

『あれ』と思って覗き込むと数名の男子生徒たちです。ゴム手袋をした彼らが腰を落とし、便器の裏表を磨こうと懸命に手を動かしているではありませんか。

私は、驚きながら声を掛けました。

「ありがとう。明日は君たちも試合だから、体を休めておくためにも、早く帰った方がいいよ」

そう言うと、「はい。でももう少し…」といます。

そこで私が、「もう暗くなってきたし…」と言いかけると、

「校長先生。明日はここが新人戦の会場ですよ。だから他の中学校がたくさん安芸太田中に来ると思うので、きれいにしておきたいんです」と答えました。



●筒賀中学校と戸河内中学校、二つの中学校が統合して半年。

生徒たちはすでに、他者の目から自校である安芸太田中学校の姿を見ることができるようになっていました。そして、『自分は、安芸太田中学校の生徒だ』という自覚が生徒たちに育っている、と思うと本当に嬉しくなりました。

また、大切なことを考えさせられました。私を含め、安芸太田中学校の教職員に、「これまでは、こうやってきた」「いままで、こんなことはやってこなかった」と、心の中に以前にいた学校での経験が深く残っていて、その物差だけで新しい安芸太田中の教育を見るようなことはなかったか、「これまでどおり」と甘んじようとはしていなかったか、ということです。

●私が教育現場から教育行政の仕事に就いたばかりの頃。教師の仕事と大きく異なる行政の仕事になかなか慣れず、仕事の期限に絶えず追われる毎日でした。

ある日、ある事業の立ち上げが間に合わない時期に来ていることに気づきました。事業内容から実施計画、経費の積み上げ、そして他の部局との合議。考えるだけでかなりの時間がかかりそうで、間に合いそうにありませんでした。期限が迫り限界でした。そこで、私は昨年度の事業書類をめぐり、年度や字づらを整え、なんとか起案を提出しました。

さっそくそれに目をとおした上司から声がかかりました。

「現場の現状把握はどのようにしていますか。その根拠はどれ。現状は昨年そのままじゃないでしょ」

「昨年どおりの事業案なら前進どころか後退ですよ」 私は返す言葉もありませんでした。

今の教育現場の現状を心からより良くしたいという思いがあつての事業案だったのか。自分の仕事に対する甘い姿勢を見透かされ、とても恥ずかしい思いもし、学ぶことの多かった経験でした。



他校からくる人に気持ちよく使ってもらいたい！

●トイレ掃除をしていた本校のあの生徒たちは、「もう少し」と言って、『自分のいる安芸太田中のトイレが汚れたままにしておけない。他校から来る人たちにも気持ちよく使ってもらいたい。』

だから、このままでは終われない』と、現状に甘んじなかった。何とかしたいという強い思いを持っていました。彼らに、教えられたな、と思います。

そういえば、彼らの日常の清掃態度を思い出します。

膝を床について丁寧に雑巾がけをしていた姿。掃除後の雑巾を丁寧に洗い、しっかり絞って雑巾がけに掛けていた姿。それに、掃除をしている彼らがとてもすがすがしい表情だったということ。

それはきっと、「明日はお客さんが来るから…」と家庭で親が掃除をしたり、庭先で摘んだ花の一輪ざしを置いたりしている姿や表情、そうした家庭での目配り気配りの親の心が、学校生活での生徒の姿に自然に表れているのだと思います。

本当にありがたいです。学校教育と家庭教育はこのようなところでもつながっているのです。

「たかが掃除。されど掃除」です。

ひゃくしゃくかんとう

●「百尺竿頭に一步を進む」という言葉があります。

百尺 竿頭とは、とても長い竿の先(悟りの境地)のこと。その竿の先で一步進めというのですから、現状に満足せずさらに努力の歩みを進めよ、という意味です。

生徒たちは文化祭に向けて昨年度にはない新しい表現を創りだそうと努力の歩みを進めています。それは地域の方々が本校に寄せる期待に応える歩みでもあります。

「昨年どおりではない」という負荷もありますが、新中学校の未来を方向づける挑戦しがいのある歩みです。生徒たちの今をみつめ、未来の安芸太田を創る生徒たちと全力挑戦しようではないか。

新庄駅伝大会  
入賞おめでとう！

# 未来につなぐ「たすき」の今を見つめる！



●10月21日(土)、第53回近郡市  
中学校新庄駅伝大会。本校から  
は男子2チーム、女子1チームが  
参加しました。

## 男子Aチーム…5位入賞

男子Aチームが、1時間6分35秒  
で総合5位に入賞しました。  
第1区から第6区、それぞれの区  
間を各自が力を尽くして、たすき  
をつなぎ、本当によく健闘したと  
思います。

## 「一秒を削り出せ」

- 箱根駅伝で有名なある大学のチーム。その選手たちの腕にだれもが書いていた言葉があります。それが「一秒を削り出せ」という言葉です。

私は初め、『走る距離が何キロもあるのに、なぜわずか1秒を削り出せなのか』と思いました。しかし、よく考えてみるととても奥深い言葉でした。

自己のタイムを極限まで縮める努力の毎日。1秒を削り出すほどの自分の限界に挑む練習。そうした日々の厳しい練習が大会当日までにあっちはずです。

その極限の自己ベストタイムをさらに1秒でも削りだせ！というのです。これは、「限界を自分が勝手に決めない、あきらめない。現状に甘んじないで挑戦せよ！」と前号(No.11)で紹介した言葉である「**百尺竿頭に一步を進む**」に通じます。

箱根駅伝での一人の1秒は10区間あわせると10秒です。この一人1秒の差は、数10m以上の差を生むこととなります。選手一人が削り出す1秒はチームにとっても大変大きいものだったのです。

- 私は今回の新庄駅伝の壮行式で、この「一秒を削り出せ」という言葉を生徒たちに紹介しました。そして、次のように安芸太田中の選手たちを激励しました。

明日の大会で選手の皆さんに実行してほしいことは2つです。  
一つ目は、与えられた区間で「1秒を削り出せ」という思いで走ろう。  
二つ目は、たすきを渡すとき、お互いに必ず声を掛け合おう。  
「あとのはたのむ!」、「まかせとけ!」と一人一人の想いを声にして、たすきをつないで欲しい。  
安芸太田中魂をたすきに乗せて、新庄の地を駆け抜けてください! 健闘を祈っています!



- 大会終了後、新庄駅伝の総合記録票が教職員に配られました。その票から男子18チームが競った結果の数字をそれぞれの区間ごと読み解いていくと、選手一人一人の頑張りが伝わってきました。

◆第1区3kmには各校のエース級の選手が先発を務めている。区間9分台から10分台の強豪選手が居並ぶなか、3年山根良会君が総合7位に食い込んだ。6位との差は13秒。(これはいける!)

◆次の第2区2.7kmの3年大下一樹君は総合順位を6位に引き上げる区間順位4位の力走だった。しかも、総合5位との差をさらに7秒に縮めていた。(入賞の射程内に入ったか!)

◆第3区3kmの3年河戸翔丈朗君は区間順位3位の健闘。総合5位との差は2秒。(大快拳!)

◆次の第4区2.7kmは総合2位を維持していた中学校が5位になるなど、各校の順位の変動が最も激しかった区間だった。そこを走る2年佐々木欣之君は総合5位との差が49秒と開いたが、区間11分台で走りぬぎ、総合6位をキープした。(ようふんぱりました!)

◆第5区2.5kmは2年川本悠太君。区間順位5位(10分7秒)の激走。なんと総合5位との差をいっきに12秒差とし、前の選手の背中をとらえようとしていた。入賞をぐっと引き寄せていた。

最終の第6区3kmは3年佐々木颯太君。ラストパートで5位の選手をいっきに抜き去り、47秒の大差をつけて、安芸太田中の総合5位入賞を果たした。(あっぱれ!おめでとう!)



- 持てる力の限りを尽くして自分の役割を果たすこと。

一人では達成できないことでも、同じ「志」を持つ仲間達が集まり、次々にその「志」をつないでいく。そうして、素晴らしい感動や成果を生み出す。新庄駅伝大会は、選手一人一人の生き方につながる貴重な経験でした。

さて、学びを生き方につなぐ教育の創造と掲げて開校半年となる本校は、今、年度の振り返り地点です。11月の「地域公開」は、生徒と地域の方との触れ合いを通して、地域の方からの評価をいただく場としています。

未来につなぐ安芸太田中教育の「たすき」の今を、あらためて見つめなおしたいと思います。(文責:校長 近藤 毅)